IU-U0950001-3

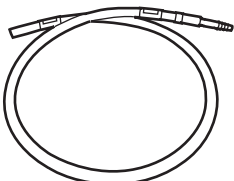
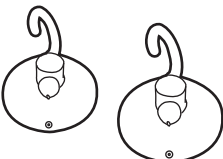
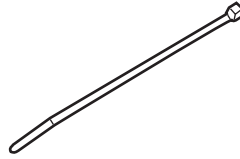
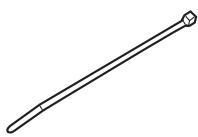
取扱説明書

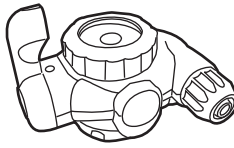
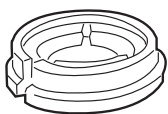
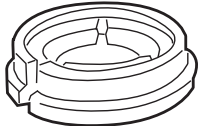
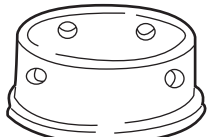
クイックオゾンピコ

卓上型オゾン水生成器

AOD−TH2

もくじ

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

●ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書は保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

梱包品の確認 ※開梱の際、付属品等のあることを確認してください

付属品

※必ず、ノズルを
　取り付けて
　ご使用ください。

概要と効用

■ 概要

本機は、高濃度の卓上型オゾン水生成器です。

１、本機は、専用のオゾン水生成部(電極および電極洗浄液タンク)と、配管部、制御部（操作部含む）、電源部および本体ケースで構成されています。

２、濃度は操作部での2段階の切換と、セルへの供給水流量を増減させる事により変化します。

■ 効用

オゾンには除菌・脱色・脱臭・分解効果があります

●除菌…強い酸化力により菌の細胞膜を酸化破壊する事により、菌を不活性化し、除去する。

●脱臭…悪臭物質がオゾンとの反応により、悪臭成分を常温で酸化して他の物質に変化させて、臭いを消す。

●脱色…オゾンの強い酸化力により、色素が分解され脱色が可能になる

●分解…オゾンの強い酸化力により低分子化することによる

（※注意）

オゾンには上記のような効果がありますが、その寿命は短く、反応しなかった分子は数時間でほとんどが酸素に分解します。オゾン水は生成直後に使用する必要があります。

安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくためによくお読みください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的障害の発生が想定される内容を示しています。
禁止	この表示は、絶対してはいけない「禁止」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■ 分解禁止

分解禁止

・本器の分解、改造は絶対にしないでください。
　火災や感電事故、および故障の原因となります。

■ 使用上の注意

強制

・本器の運転は、取扱説明書に記載された使用方法、および定められた仕様の範囲内にて行ってください。
　定められた使用範囲外や間違った方法で運転した場合、重大な災害の発生、または機器が故障する恐れがあります。

屋外禁止

・本器は屋内使用として設計されています。直接風雨に曝されないようにしてください。
　火災や感電事故、および故障の原因となります。

強制

・本器の入力電源は定格ＡＣ100Ｖ仕様です。ＡＣ100Ｖ以外には接続しないでください。火災や感電事故、及び故障の原因となります。

強制

水素ガス【排気口の確保】

・本器上面の排気口を塞がないでください。内部の水素ガスが排出されなくなり危険です。　また、故障の原因となります。
・排気口には火を絶対に近づけないでください。また運転中、本体を袋で覆ったり、排気口からの水素ガスを集めないでください。事故故障の原因となります。

強制

・電源プラグの抜差しは、プラグ部分をもち、差し込む際は根元まで確実に指し込み、電源プラグ・電源コードを破損する行為はしないでください。火災・感電事故の原因となります。
　また、電源プラグは定期的にゴミ・ホコリなどを取り除いてください。

強制

・水温が低い時、濃度切替スイッチ「高」の設定で流量を絞った使い方を続けるとオゾンの臭いが強くなります。
　この時は、濃度切替スイッチを「低」にするか、流量を多くしてオゾン水生成濃度を下げるか、または一旦運転を停止して、オゾンガスの臭いがなくなってから再度ご使用ください。高濃度のオゾンガスを長時間吸い続けると人体に有害です。

禁止

・オゾン水吐出管（フレキシブルチューブ）は、無理に曲げないでください。吐出管のゆるみや、水漏れなど故障の原因となります。（吐出管は無理に曲げないでください。）

禁止

・供給水口には、40℃以上の温熱水を注入しないでください。

禁止

・本機は火気や有害ガスのそばに設置しないでください。

注意

強制

・オゾンは非常に強力な酸化作用を有しますので、オゾン水の排水部や受皿、容器にはステンレス・フッ素樹脂など耐食性・耐オゾン性に優れた材質のご使用をおすすめします。

禁止

・オゾン水吐出管の先端を塞がないでください。水漏れ、故障の原因となります。

禁止

・有機溶剤や腐食性ガスの雰囲気中での使用はしないでください。火災や感電事故、および故障の原因となります。

強制

・機器および部品の運搬には十分注意してください。転倒や落下による災害または故障の原因となります。
また、製品を傾けたり、倒しますと液がもれ故障の原因となります。

強制

・日常点検、定期点検及び消耗品の交換は取扱説明書にしたがって確実に実施してください。正常な保守が行われていない場合、重大な事故や故障を生じる恐れがあります。

強制

【供給水に注意】製品に使用する供給水は、上水道水または精製水を使用して下さい。供給水の硬度が200以上ある場合、別途軟水器を使用してください。電極部及び電極洗浄液タンク内にスケールが発生し（白い沈殿物）オゾン水濃度の低下、故障の原因となります。

飲用禁止

・オゾン水は、飲まないでください。飲料用ではありません。

禁止

・製品は水平器の気泡が赤丸内に入る様に調整し、設置してください。
オゾン水濃度の低下、故障の原因になります。

禁止

・カソードタンクには、カソード液以外入れないでください。液を交換する場合、新品を使用してください。性能低下、故障の原因になります。

禁止

・排水用ホースは、本体より上側にしないでください。（オゾン水濃度の低下や故障の原因となります。）
また、決してふさがないでください。

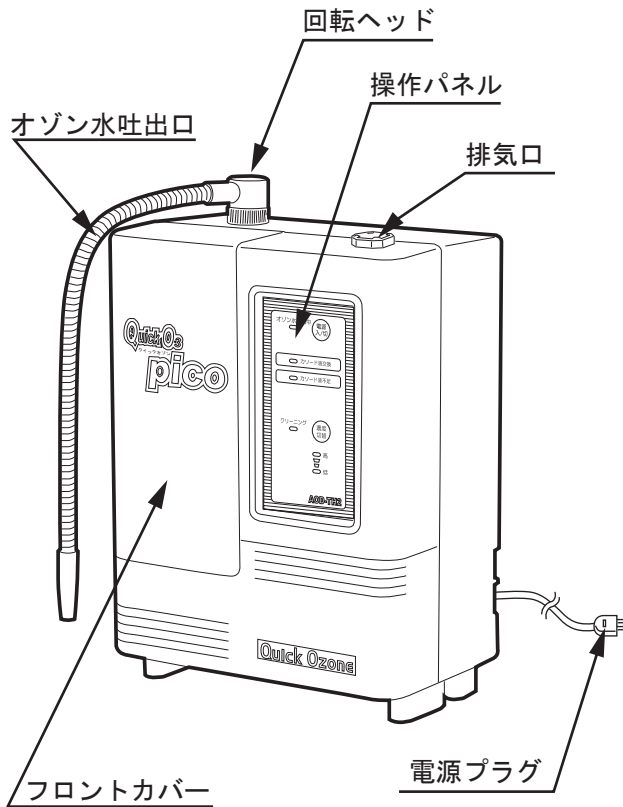
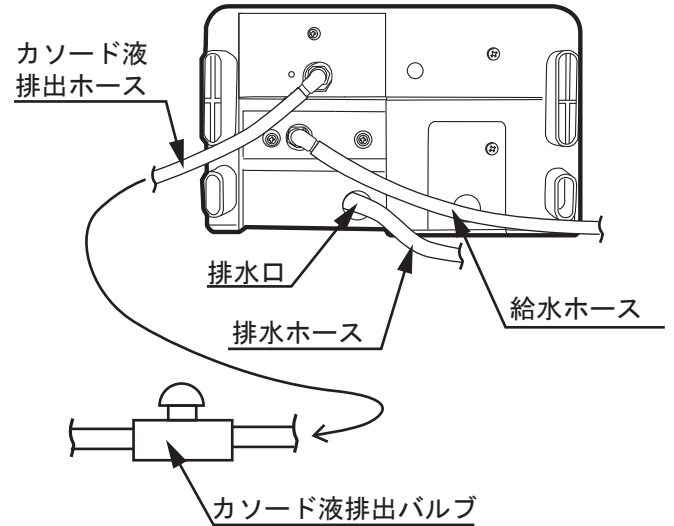
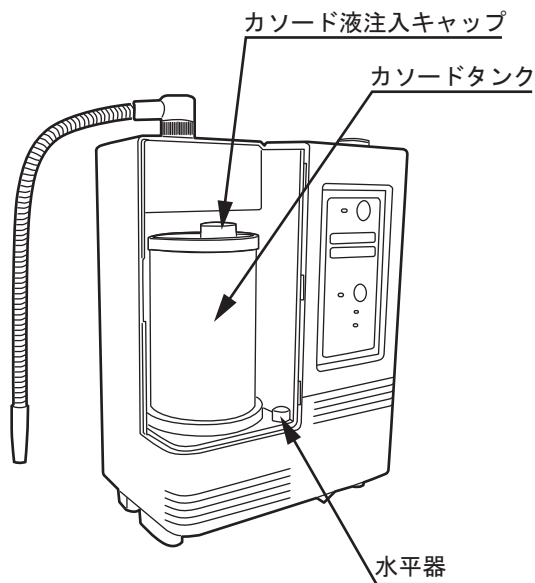
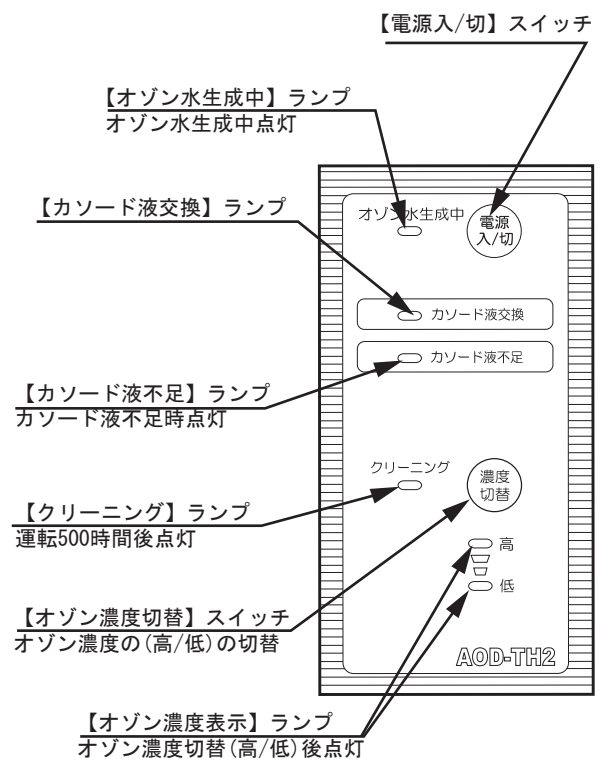
禁止

・オゾン水吐出口や回転ヘッドを持って、本体を持ち上げないでください。水漏れ、故障の原因となります。

強制

・オゾン水吐出口を曲げる（特に上下方向）場合、回転ヘッドを持ち、もう片方の手で曲げてください。

各部の名称

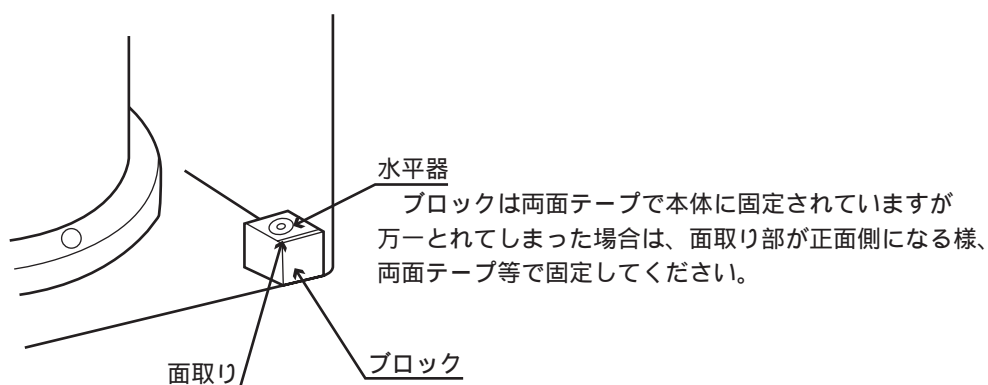
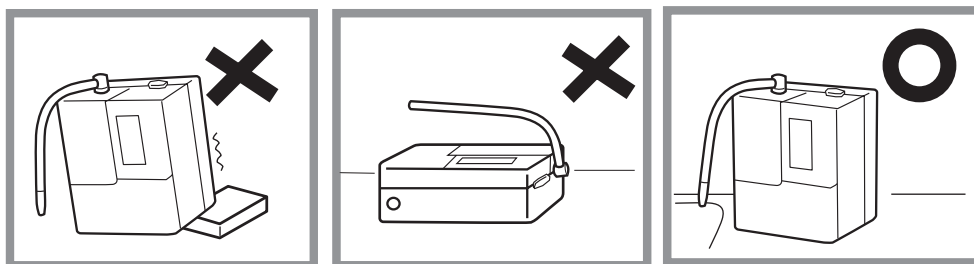
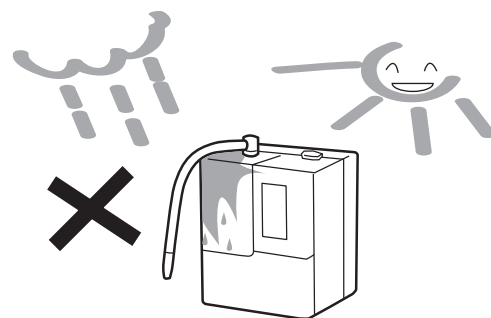
■本体（正面）

■本体（底面）

■本体（カソードタンク部）

■パネル部

ご使用の前に

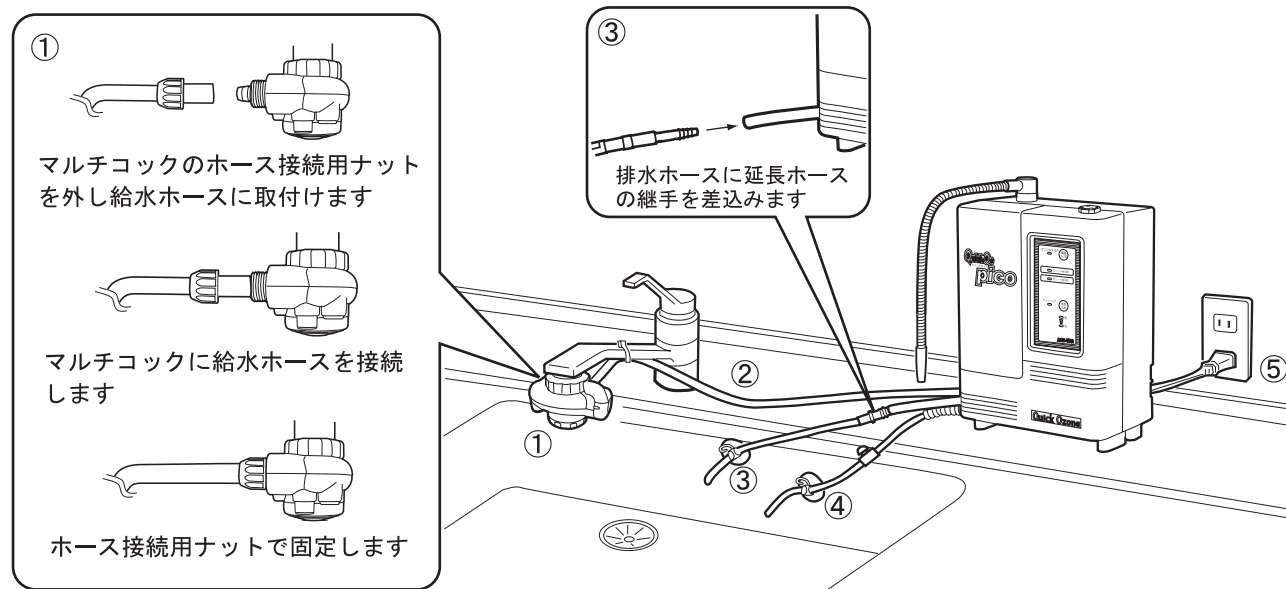
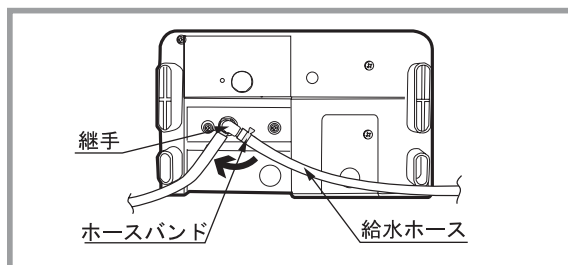
■周囲環境

・室内温度は5℃～35℃範囲内の場所で使用してください。
・結露・氷結させないでください。凍結の恐れのある場合には本体内の水を抜いてください。（保管・移動手順参照）
・上水で使用してください。水の硬度が特に高い地域（硬度200以上）で使用される場合には、本機給水前に軟水器を設置し硬度を下げてご使用ください。
・火気や有害ガスのそばに設置しないでください。

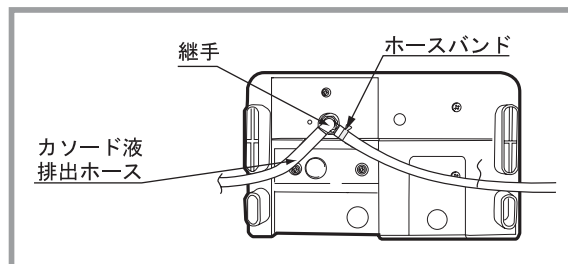
■設置

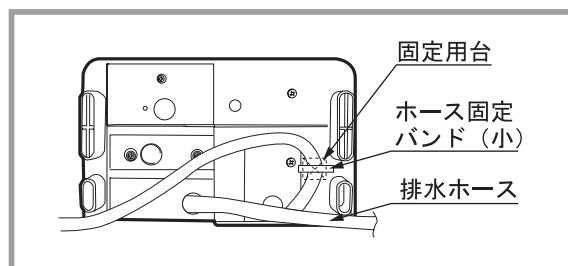
・水平器の気泡が赤丸内に入る様に調整し、安定した場所に設置してください。
製品を傾けたり、倒したりするとカソード液の漏れ・オゾン水濃度の低下・故障の原因になります。
・換気のよい場所に設置してください。オゾンの臭気が強い場合には、換気扇や窓の開放により換気する場合があります。

※ブロックは両面テープで本体に固定されていますが
万一とれてしまった場合は、面取り部が正面側になる様、
両面テープ等で固定してください。

【注意】
・本機は屋内用です。万一屋外で使用する場合は、直接雨風に曝さないように注意してください。
また、必要に応じて防水・防滴・防塵等の対策を施してください。

■配管・接続

①水道の蛇口に「マルチコック」を取り付けてください。
　※マルチコックの取付方法については付属の「マルチコックの取付方法」を参照してください。
②給水ホースをマルチコックに接続してください。ホースはホース固定バンド（大）で固定してください。
③排水ホースに延長ホースを接続し、吸盤に固定してください。
④カソード液排出ホースは吸盤に固定してください。
⑤電源プラグをソケットに差込んでください。
　※ＡＣ１００Ｖ　50/60Hz以外は差込まないでください。

●給水口の向きを変更する場合

ホースを接続したまま継手の根元を持ちながら、
矢印の方向へ回してください。
※絶対に反対方向には回さないでください。
　水漏れの原因になります。
※ホースバンドは外さないでください。

●カソード液排出口の向きを変更する場合

ホースを接続したまま、継手の根元を持ちながら、
矢印の方向へ回してください。
※絶対に反対方向には回さないでください。
　水漏れの原因になります。
※ホースバンドは外さないでください。

●排水口の向きを変更する場合

固定用台にホース固定バンド（小）を通し、排水ホースを
固定バンドで固定してください。この時、ホースが折れない様に
注意してください

運 転

※工場出荷時にはカソード液が入っておりません。
ご使用になる前に、付属のカソード液を注入してください。

■運転前の確認

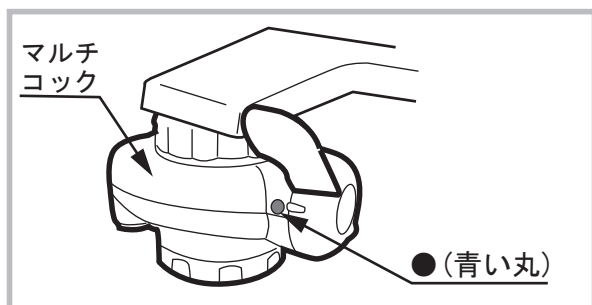
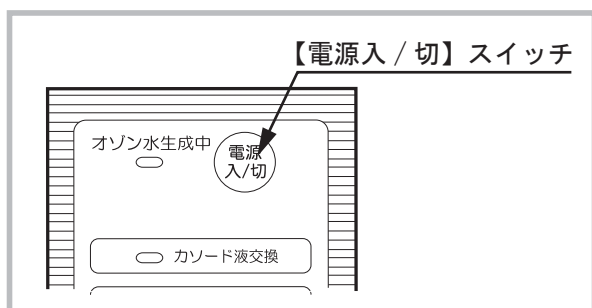
1 水道からの配管が確実につながれている（マルチコックの分岐レバー位置が青になっている。）

2 カソード液がカソードタンク内に注入されている。（440ml）
（※注入方法は「カソード液の排出・交換」にしたがって注入してください）

3 電源プラグが正しく接続されている。

4 排水ホースが本体より下側になっている。

5 排気口の穴がふさがれていない。

■運転

1 【電源　入/切】スイッチを押します。
濃度切替表示ランプが点灯。（工場出荷時はオゾン濃度切替スイッチは″高″に設定されています。）

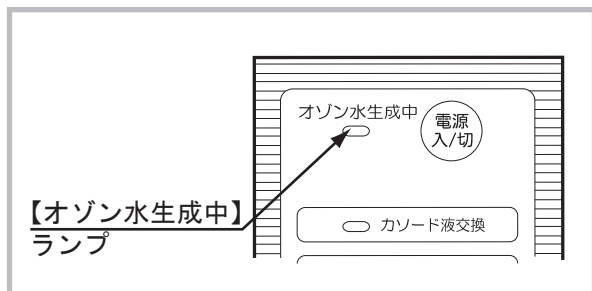
2 マルチコックの切換レバーを●（青い丸）に合わせます。

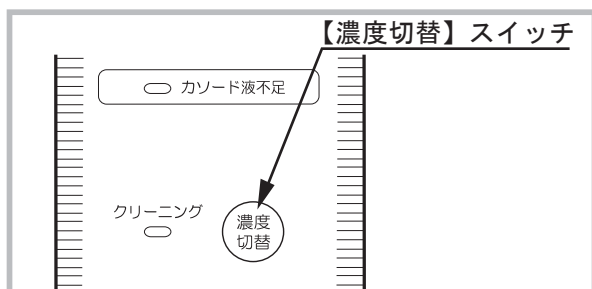
3 蛇口を開きます
オゾン水生成中ランプが点灯し、生成されたオゾン水が流れます。
低流量（１L/min前後）の場合、オゾン吐出口と排水口の両方から出る場合があります。その時は排水口の方から水が出ない様に流量を上げてください。

【注意】・40℃以上の温熱水は流さないでください。

【注意】・カソード液タンク部分のカバーは、液の交換時以外は外さないでください

【注意】・オゾン水吐出口を曲げる（特に上下方向）場合、回転ヘッドを持ち、もう片方の手で曲げてください。

■停止

1 水道の元栓（蛇口）を閉めます
オゾン水生成中ランプが消灯し、オゾン水が停止します。
排水ホースより少量の水が出ます。これは、オゾン濃度の急激な低下を防止する為ですので、異常ではありません。

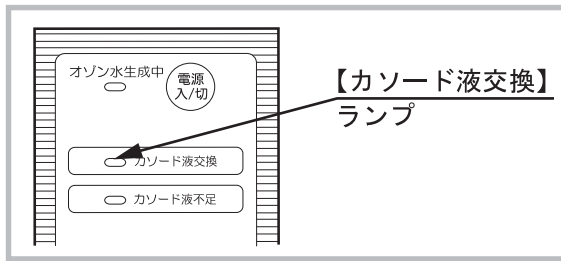
■濃度切替

1 【濃度切替】スイッチを押します。
（高→低、低→高へ切替わります。）

「高」の時はオゾン濃度が高濃度
「低」の時はオゾン濃度が低濃度

【注意】
・オゾン水吐出口からオゾン水を勢いよく容器に受ける場合など、オゾン水中のオゾンがガスとして発散します。
・オゾンガスは人体に有害です。強い臭気を感じた場合は直ちにオゾン水の生成を止め、換気を行ってください。

カソード液の排出・交換

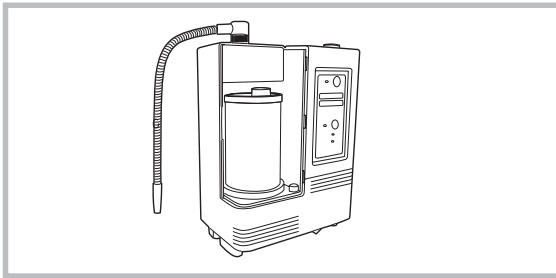
※カソード液交換約 27 時間後に点滅し、交換予告をします。
約 30 時間後に点灯し、オゾン水生成を自動停止します。

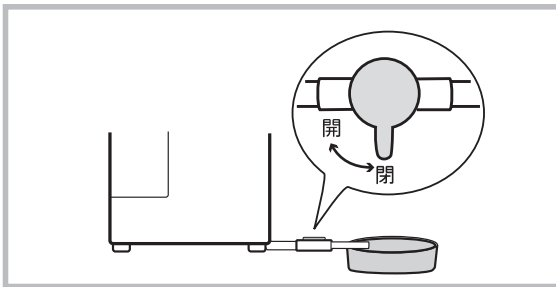
■カソード 液の交換表示

1 「カソード液交換」ランプが点灯すると同時に、
アラーム音が「ピー」と約１秒鳴ります。

※この時、【オゾン水生成中】ランプが消灯し、オゾン水の生成が停止しますので水道元栓（蛇口）を閉めてください。

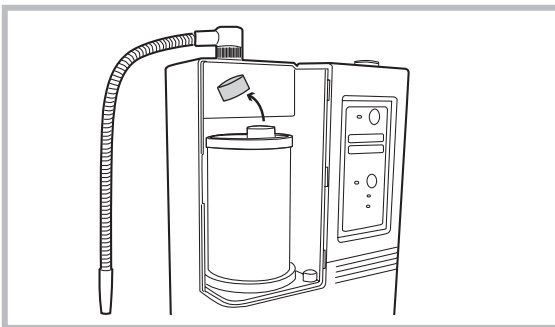
※【電源　入/切】スイッチを押し、電源コードを抜いてからカソード液を新しいものと交換してください。

（カソード液交換手順参照）

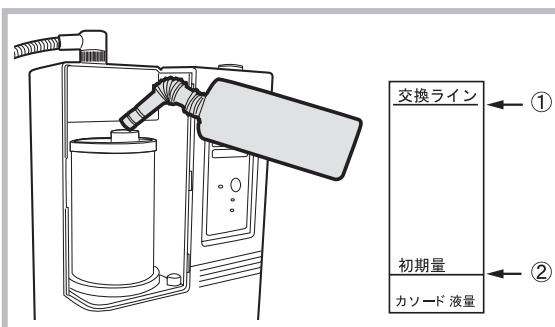
■準備

2 フロントカバーを外します。

■カソード液の排出

3 カソード液排出ホースの先端に受け容器をあて
排出バルブを開の位置まで回します。
排出が完了したらバルブを閉の位置まで戻します。

※必ず受け皿に排出してください。
※カソード液は酸性（クエン酸で無害）のため100～500倍にうすめてから流してください。（うすめないと錆の原因になります。）

■カソード液の注入

1 カソード液注入キャップを回して外します。

2 タンク上面の【カソード液注入口】より新しい
カソード液をゆっくり注入してください。

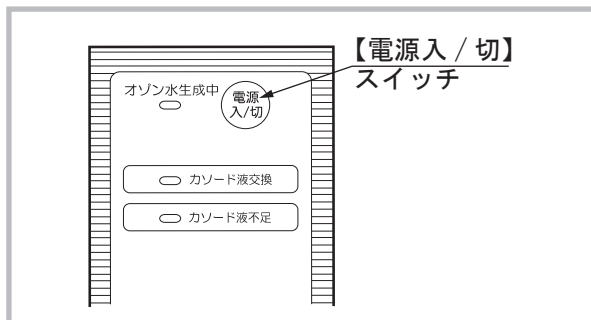
※カソード液はこぼれないようにしてください。
万一こぼれたら、濡れた布で拭き取ってください。
（サビ、腐食の原因となります。）
※注入量はボトル１本（440ml）です。

注）カソード液の注入はタンクに貼ってある【カソード液量ラベル】を見ながら「初期量」より上になるように注入してください。
①液面が交換ラインより上になりますと「カソード液交換」ランプが点灯します。
②初期量より下になりますと「カソード液不足」ランプが点灯します。

3 カソード液注入キャップを戻します。

4 フロントカバーを取り付けます。

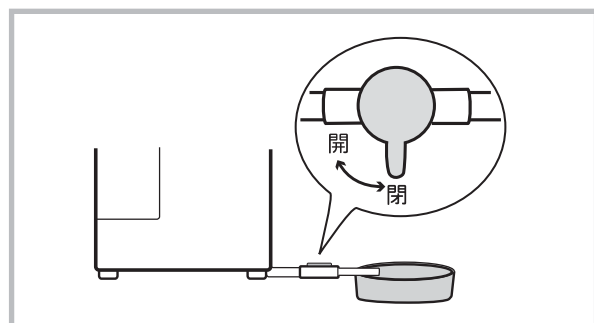
保管・移動

■保管・ 移動

保管・移動する時はマルチコックから給水ホースを外して、カソード液抜きが必要です。

1 【電源入/切】スイッチを押して電源を切った後、電源プラグを抜いてください。

※運転を停止した時【電源入/切】スイッチを押し電源を切っている場合はこの操作は行いません。

2 カソード液を抜いてください。

※手順については「カソード液の排出・交換」を参照してください。

3 マルチコックから給水ホースを抜いてください。

※その時、排水ホースより水が出る場合があります。

【注意】
・カソード液排出用ホースにカソード液が残っていないことを確認してください

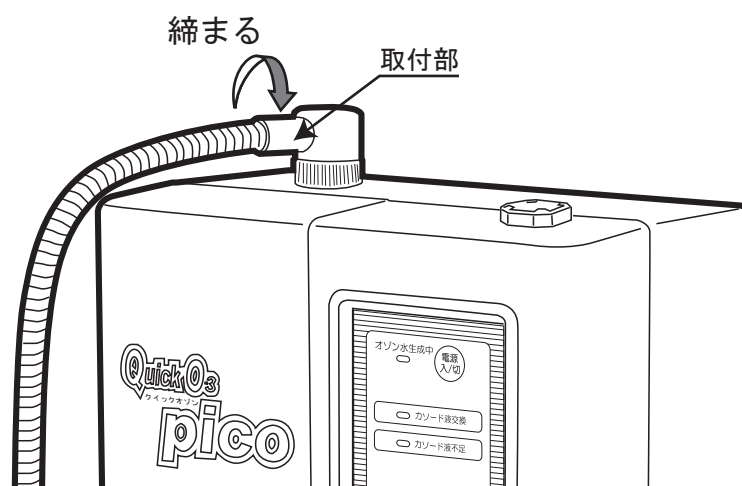
【注意】
・輸送等移動を行う場合は必ず、カソード液を抜いてください。
万一、横倒しになった場合、カソード液が漏れ出し製品の故障の原因になります。

【注意】
・本体を移動する時は、オゾン水吐出口や回転ヘッドを持って、本体を持ち上げないでください。

故障かなと思ったら

状　態	原　因	このようにしてください
オゾン水生成中のランプが点灯しない （オゾン水が生成しない）	コンセント プラグが抜けていませんか	電源プラグをコンセントに差込んでください
	カソード液不足又はカソード液交換ランプが点灯していませんか	カソード液を補充してください
カソード液不足ランプが点灯した	カソード液が不足しています	
カソード液交換ランプが点灯した	カソード液の交換時期がきました	【カソード液の排出・交換】又はの手順でカソード液を適正な位置まで入れてください
クリーニングランプが点灯した	電極リフレッシュの時期がきました	販売店又は代理店にご連絡ください
カソード液が漏れる	排出バルブが緩んでいませんか	排出バルブを閉めてください
	排出ホースが外れていませんか	ホースをつなぎ、ホースバンドで固定してください マルチコック部分、オゾン水吐出口部は固定ナットを締め込んでください
継手から水、カソード液が漏れる	ホースが外れていませんか	
オゾン水生成中ランプが消灯しない	給水検知用スイッチの故障	直ちに電源を切り、販売店または代理店に連絡してください ※電源が切れない場合には電源プラグを引き抜いてください
回転ヘッド部から水が漏れる	回転ヘッドの下側（固定部）が緩んでいませんか	回転ヘッドの下側を時計回りに締め込んでください

その他に原因が見当たらない場合は、販売店又は代理店へご連絡ください。

※オゾン水吐出口はフレキシブルチューブになっています。
　吐出口はお客様希望の角度で使用可能ですが、使用していますと取付部が緩んでくる場合があります。
　水漏れの原因になりますので都度、確認いただき締め直して頂きますようお願いします。

メンテナンス及びお手入れ

■日常点検

No.	点検項目	測定値または状況	備　　考
1	液漏れ	カソード液の漏れ	カソード液排出バルブの確認
2	水漏れ	供給水、オゾン水の漏れ	底面：供給水配管の確認 上面：オゾン水吐出配管の確認
3	お知らせサイン	「カソード液交換」ランプ 「カソード液不足」ランプ、 「クリーニング」ランプが点灯 していない事	

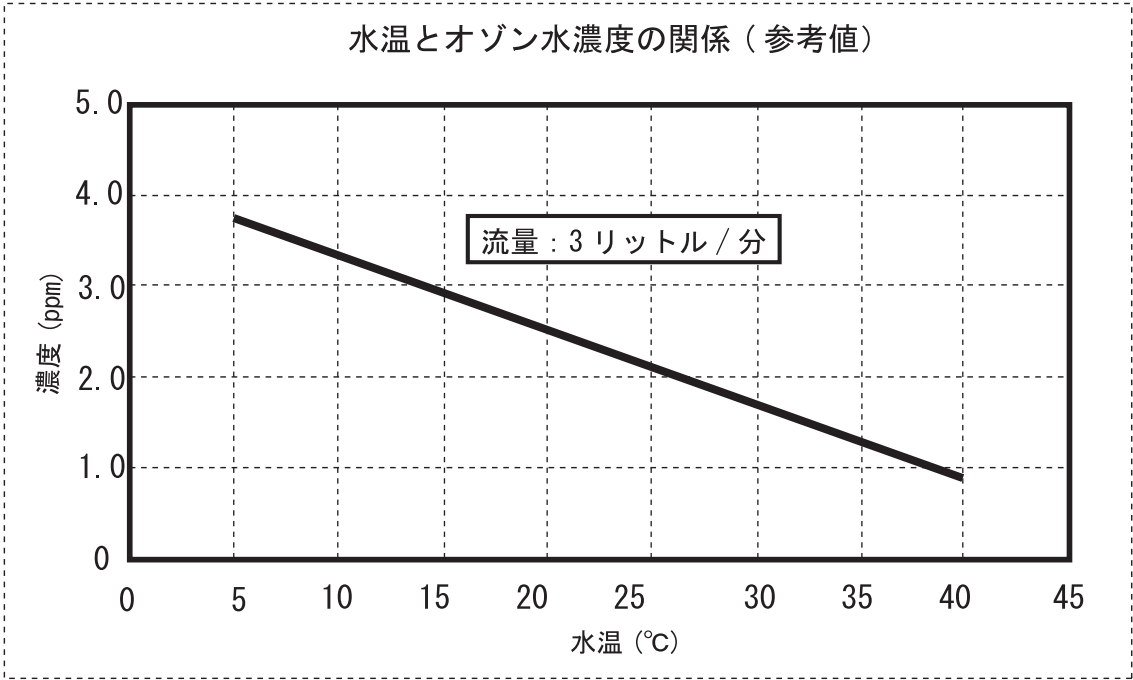
■消耗品

No.	品　名	対　処	備　考
1	カソード液	約30時間で交換	販売店又は代理店にご連絡ください
2	電極セル	リフレッシュ（累積稼動時間約500時間毎）	

■お手入れ

装置について汚れは、中性洗剤に浸した布等で軽くふき取ってください。カソード液がこぼれた後、白く固まってしまった場合には、水で濡らしてしばらく放置し、ふき取ってください。

標準仕様

事　項	仕	様		
装置型式	型式	ＡＯＤ－ＴＨ２		
外形	外形寸法	W250×D150×H333(mm)　（突起部を除く）		
	製品重量	約4.5kg（乾燥重量）		
オゾン発生機能	初期濃度 （水温15℃時）	高	流量：1ﾘｯﾄﾙ／分	流量：5ﾘｯﾄﾙ／分
			4ppm	1ppm
		低	流量：1ﾘｯﾄﾙ／分	流量：5ﾘｯﾄﾙ／分
			2ppm	0.5ppm
	立上時間	5秒以内		
	流量	MIN 1ﾘｯﾄﾙ／分　MAX 5ﾘｯﾄﾙ／分		
設置環境	設置場所	屋内		
	温度	5～35℃（供給水温5～40℃）		
	湿度	10～90%RH（結露しないこと）		
電源	定格電圧	AC100V　50／60Hz（ 家庭用コンセント 使用可）		
	定格電流	1.4A		
カソード液	電極洗浄液	成分：クエン酸、食塩　　容量：440ml		
	交換時間	約30時間：高濃度設定時（水圧等により前後する場合があります）		

保証期間とアフターサービス

・本器の保証期間はご購入日から1年間です。この期間内に発生した明らかに弊社の設計上・製作上の責任に起因する機器の欠陥については、無償にて修理致します。但し、機能を維持するための定期点検ならびに消耗品については、有償となります。

・お買い上げ販売店の捺印を確認した上で大切に保管してください。

このたびは弊社のオゾン水生成器「ＡＯＤ－ＴＨ２」をお買い上げ戴き、ありがとうございます。

万一不具合が生じたときは・・・

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しないなどの故障が生じた場合は、本機お買い上げ販売店までご連絡下さい。修理に関するご案内をさせて頂きます。

販売店

株式会社クリエンテス

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-21-13　コンフォリア201

TEL：03-3441-5801　　FAX：03-3441-5849

email：infoa@clientes.co.jp

URL：http://www.clientes.co.jp/

製造元

株式会社アイ電子工業

〒324-0047　栃木県大田原市美原3丁目3323－12

2014年2月